



## タブレット端末を活用した実践報告 「古河市教育ICTフォーラム」を開催



▲ジェスチャーやユーモアを交えた、堂々とした子どもたちのプレゼンテーション

4回目の開催となる「古河市教育ICTフォーラム」が、2月25日・26日の2日間、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で行われました。

平成27年度からICT教育を推進している古河市の取り組みを学ぼうと、全国から教員や自治体職員など約1,000人が参加。総務省や文部科学省の担当官による基調講演、プログラミングに関するワークショップ、市内教員による実践報告に、参加者は熱心に聞き入っていました。特に、タブレット端末を活用した児童生徒のプレゼンテーションには大きな拍手が送られ、最先端の教育環境での学習を楽しんでいる様子が会場に伝わりました。



## 古河桃むすめが首相訪問 「古河桃まつり」をPR



▲一足先に首相へ春をお届けしました

2月22日、古河桃むすめ4人が安倍晋三首相を表敬訪問しました。古河桃むすめの増田絵菜さんがハナモモの花束を贈呈。安倍首相は、「いい香りだ」「大変きれいだね」と笑顔で受け取りました。

同行した針谷市長が約1,500本のハナモモが咲き誇る古河桃まつりをPRすると、「圏央道が開通することで、多くの観光客が訪れるのではないかと期待しています」と首相から応援の言葉をいただきました。

また、2月24日には、古河桃まつりの会場となる古河公方公園(古河総合公園)がハナモモの開花宣言をしました。

## 姉妹都市 だより

### 古河市 & 真室川町 歴史で結ぶ少年少女の集い



昭和63(1988)年に山形県真室川町と旧総和町が姉妹都市盟約を締結してから始まった、子どもたちの姉妹都市交流。毎年度交互にお互いの市町を訪問し、絆を深めています。今年は2月17日～19日に、市内小学5・6年生30人が真室川町を訪問。真室川町の小学5・6年生25人と、雪上でのレクリエーションやスノーキャンドルづくりなど、雪国でしか味わえない貴重な体験で友情を深めました。

「また、必ず会おうね」「とても楽しかったよ」と別れを惜しむ子どもたち。3日間の思い出を胸に再会を誓いました。